

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	国際交流センター維持補修事業	部局名	秘書室
		課(室)名	秘書広報課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市国際交流センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	国際交流センターは、外国諸都市との相互理解と友好親善を深め、市民と外国人との交流、国際交流に関する普及啓発等を行う活動の拠点となっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民が快適に利用できる状態を維持する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市国際交流センターの利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	清掃等の日常業務に加えて設備の定期的な保守点検、修繕を行い施設を適切に管理する。

【コスト】

		平成29年度(決算見込)
事業費合計		4,936千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	114千円
	一般財源	4,822千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	26国際交流費
細目	005国際交流事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	4,936千円	5,136千円	4,982千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	市民と外国人との交流や国際交流に関する普及啓発等を行う活動の拠点である国際交流センターを適切に維持管理することができた。

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	国際交流センター維持補修事業	部局名	秘書室
		課(室)名	秘書広報課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
加古川市人口（10／1付推計人口）	人	264,396	266,443	267,434

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施事業数	事業	35	33	32
活動指標分析結果	事業数については例年通りで妥当と考える。適切な施設の維持管理により利用者に安全で快適な活動の場を継続して提供できており、事業数を維持できていると考える。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
国際交流の目的で使用したセンター利用者数（延べ人数）	人	19,193	17,781	18,554	平成30年度	18,900
成果指標分析結果	平成28年度利用者数17,781人に対し、利用者数が増加しているが、これまで加算していなかった最も利用者数の多いサロン利用者数を加算したためである。					

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	国際交流委託事業	部局名	秘書室
		課(室)名	秘書広報課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	加古川市の国際交流事業については、公益財団法人加古川市国際交流協会に委託することで実施している。姉妹都市からの来加、加古川市からの派遣事業も毎年実施している。市民レベルでは、日本語講師ボランティアを中心に、多様な事業の実施により国際交流を図っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の国際交流と国際理解を高めるとともに、外国諸都市の相互理解と友好親善を深める。また、外国人居住者の生活に関する問題解決を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民、姉妹都市等の外国人
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	公益財団法人加古川市国際交流協会に国際交流事業を委託する。

【コスト】

	平成29年度(決算見込)	
事業費合計	5,609千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	5,609千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	26国際交流費
細目	005国際交流事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	5,609千円	3,175千円	3,770千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>より多くの市民が参加できる事業展開に努め、姉妹都市とも交流を密にすることにより、多文化が共生する心豊かな社会の実現に資することができた。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	国際交流委託事業	部局名	秘書室
		課(室)名	秘書広報課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	264,396	266,443	267,434
市内在住外国人	人	2,587	2,503	2,501

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実施事業数	事業	35	33	32
活動指標分析結果	実施事業数については妥当。市民のニーズに応え、新規事業を開始した。今後も引き続き、市民や外国人住民のニーズをよりよく把握し、既存事業の内容について精査が必要であると考え。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
事業参加人数	人	1,780	1,759	1,671	平成30年度	1,800
成果指標分析結果	今年度は、姉妹都市からの訪問団を例年より多く受け入れたことや、新規事業を開始したことから、事業参加人数が増加している。また既存の定例イベントにおいても過去最多参加人数を記録していることから、外国人数の増加・国際交流への関心が高まっていることがわかる。					

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	文化活動振興に要する一般的経費	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化芸術振興基本法

【事業概要】

現状と課題	文化活動振興にかかわる一般的な経費を必要最小限負担。東播磨文化団体連合会の開催市負担金として、平成29年度は東はりま大茶会、平成30年度は東はりまみんよう大会負担金各350,000円を計上。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	文化的な市民生活の向上を図る。芸術文化団体や寄附申出者への情報提供やさらなる文化振興を促す手助けをする。
対象 ※誰、何に対して	市民、各種文化団体
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	ロビーコンサート開催、文化振興のための寄附申出者への感謝状作成、東播磨文化団体連合会との調整業務など、文化振興のために必要な事務を行う。平成29年度には、東播磨文化団体連合会の主催により、当市にて開催する「東はりま大茶会」に対する負担金の支出を行った。

【コスト】

		平成29年度(決算見込)
事業費合計		565千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	565千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	020文化活動振興事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	565千円	220千円	182千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 文化振興に関する一般経費として必要最小限な内容であり、このまま維持していくべきと考える。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	文化活動振興に要する一般的経費	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
ロビーコンサート開催回数	回	13	13	10
活動指標分析結果	会場が選挙期日前投票会場となったため、1回中止となったが、それ以外は予定通りの開催が来ている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
成果指標分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	市民会館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和48年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化芸術振興基本法、加古川市民会館条例、加古川市民会館条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	市民会館は、市民文化の向上と福祉の増進を目的として昭和48年にオープンした。平成21年度より指定管理者制度を導入し、民間活力によるより効果的な施設の管理運営を実施しているが、市民ニーズが多様化する中、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民に文化活動の場を提供するとともに、集会・研修会をはじめとする諸会議等幅広く貸館業務を行う。なお、事業実施にあたっては、指定管理者制度を導入している。

【コスト】

	平成29年度(決算見込)	
事業費合計	139,570千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	18,749千円
	一般財源	120,821千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	13市民会館費
細目	005市民会館管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	139,570千円	126,095千円	172,174千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者制度の導入により、民間事業者のノウハウを活かした事業展開、管理運営がなされており、サービスの質が確保されていると評価している。今後とも、市民に親しまれる魅力のある施設となるよう、より効果的なモニタリングの手法について検討する必要がある。また、平成25年9月から1年間改修工事を行ったが、工事に該当していない設備の老朽化が著しいため、安心して利用できるよう計画的な改修が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	市民会館管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
市民（10／1付推計人口）	人	265,055	266,443	267,434

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指定管理者自主事業入場者数	人	12,201	12,468	12,105
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は一定の水準で推移している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	209,904	226,473	191,412	平成32年度	219,300
成果指標分析結果	前年度に貸館で大型公演があったことや、3年に一度の音楽コンクールが3日間開催されたため、施設利用者数は前年度比減となった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	松風ギャラリー管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成6年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立松風ギャラリーの設置及び管理に関する条例、条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	民間活力による効果的な施設の管理運営を実施するため平成21年度より指定管理者制度の導入を行った。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民に文化活動の場を提供するために貸館業務を行う。また、芸術文化の振興を図るため自主事業を実施する。なお、管理運営については、指定管理者制度を導入している。

【コスト】

	平成29年度(決算見込)	
事業費合計	18,145千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	18,145千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	005松風ギャラリー管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	18,145千円	16,413千円	16,413千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者制度の導入により、指定管理者による管理運営がなされており、サービスの質が確保されている。施設規模や貸館数も少ないことから、今後はより地域で利用してもらう方法を模索する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	松風ギャラリー管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
市民（10／1付推計人口）	人	265,055	266,443	267,434

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指定管理者自主事業入場者数	人	1,547	2,051	1,732
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は一定の水準で推移している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	25,163	24,848	20,538	平成32年度	21,900
成果指標分析結果	施設利用者数は一定の水準で推移している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	総合文化センター管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和60年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川総合文化センターの設置及び管理に関する条例、条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	民間活力による効果的な施設の管理運営を実施するため平成21年度より指定管理者制度を導入している。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民に文化活動の場を提供する貸館業務や、主に文化、考古、宇宙科学等にふれる機会として自主事業を行う。なお、管理運営にあたっては、指定管理者制度を導入している。

【コスト】

	平成29年度(決算見込)	
事業費合計	112,839千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	8,782千円
	一般財源	104,057千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	18総合文化センター費
細目	005総合文化センター管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	112,839千円	141,112千円	98,490千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>指定管理者制度の導入により、民間事業者のノウハウを活かした事業展開、管理運営がなされており、サービスの質が確保されていると評価している。今後とも、市民に親しまれる魅力のある施設となるよう、より効果的なモニタリングの手法について検討する必要がある。また、開館後相当年が経過しており、設備の老朽化が目立ってきたため、安心して利用できるよう計画的な改修が必要である。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	総合文化センター管理運営事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
市民（10／1付推計人口）	人	265,055	266,443	267,434

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指定管理者自主事業入場者数	人	9,849	10,438	7,611
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は一定の水準で推移している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	148,558	159,332	156,025	平成32年度	166,900
成果指標分析結果	プラネタリウム入場者数、貸館の大会議室の利用減により利用者数減となった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	(公財)加古川市ウェルネス協会補助事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成19年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市補助金等交付規則、公益財団法人加古川市ウェルネス協会補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	「市民の総合的な健康づくり」、「スポーツ」、「文化」及び「コミュニティ」に関する事業を実施し、市民誰もが心豊かで健やかに暮らせるまちづくりを推進している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の総合的な健康の維持及び増進並びにスポーツ・文化・コミュニティの振興を図る。
対象 ※誰、何に対して	公益財団法人加古川市ウェルネス協会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	公益財団法人加古川市ウェルネス協会が実施するスポーツ・文化・コミュニティの公益的な事業に対し補助を行う。

【コスト】

	平成29年度(決算見込)	
事業費合計	80,790千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	9,500千円
	一般財源	71,290千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	27ウェルネス費
細目	020(公財)加古川市ウェルネス協会補助事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	80,790千円	72,061千円	69,732千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 多くの市民が事業に参加しており、市民のスポーツ・文化・コミュニティの振興を図る事業として存在意義は大きい。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	(公財)加古川市ウェルネス協会補助事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
公益財団法人加古川市ウェルネス協会	法人	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
補助金支出額	円	80,789,016	72,061,000	69,732,137
活動指標分析結果	27年度より事業の精査を行い、レガッタ普及事業及び芸術家支援・育成事業が市の委託事業となったため、補助金支出額は減少している。平成29年度に「かこがわ将棋プラザ」を開設したことにより運営費が増加している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
加古川駅南まちづくりセンター利用者数	人	27,596	110,968	106,618	平成32年度	30,000
将棋プラザ利用者数	人	9,616			平成32年度	10,000
成果指標分析結果	まちづくりセンター利用者数については、29年度の移転に伴い部屋数の減少等により利用者数も減少している。また新たに開設したかこがわ将棋プラザも同様、29年度が実質初年度となるため、実績数を目標値に設定している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	美術展・幼児画展開催事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和26年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成16年度から実施しており、加古川市美術展・幼児画展ともに市民に定着し、出品数・来場者数も一定の水準を保っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	美術愛好家の創作意欲の高揚や、入賞作品の鑑賞を通じて地域の芸術活動の振興となることを目的とする。また保育園・幼稚園児の豊かな感性を育て、創作活動の発表の場を提供する。
対象 ※誰、何に対して	美術愛好家、市内各幼稚園・保育園児
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市美術展(日本画・洋画・写真・書道・彫塑・工芸)、幼児画展を委託して開催する。

【コスト】

	平成29年度(決算見込)	
事業費合計	3,342千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,342千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	015美術展開催事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	3,342千円	3,599千円	4,392千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	創作意欲の高揚や、鑑賞による芸術活動の振興、幼児の豊かな感性の育成など、地域の芸術文化振興を図るために継続していくべき事業である。

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	美術展・幼児画展開催事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	265,055	266,443	267,434

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
美術展開催日数	日	8	8	8
幼児画展開催日数	日	3	3	3
活動指標分析結果	美術展及び幼児画展とも、来場者数は直近3年間において一定の水準を維持している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
美術展観覧者数	人	3,115	3,680	3,194	平成32年度	3,200
幼児画展観覧者数	人	3,268	3,499	3,333	平成32年度	3,400
成果指標分析結果	美術展の出品点数は年々微増している。幼児画展の参加園は廃園により減少しているが、1園あたりの出品点数は例年並みである。					

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	文化まつり開催事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和39年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化芸術振興基本法

【事業概要】

現状と課題	市の委託事業ではあるが、参加費無料の催しのため、各団体の費用持ち出しが多い。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	各文化団体に広く発表の機会を与えるとともに、市内各施設にて多種多様なジャンルのイベント等を開催することで、市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供する。
対象 ※誰、何に対して	文化連盟加盟団体
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	各種文化団体が所属する文化連盟に委託し「文化まつり」を開催する。

【コスト】

	平成29年度(決算見込)	
事業費合計	1,400千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	50千円
	一般財源	1,350千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	020文化活動振興事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	1,400千円	1,400千円	1,400千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	様々なジャンルの文化・芸術に、市民が身近にふれる機会を提供していくために必要な事業である。

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	文化まつり開催事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
文化連盟加盟団体数	団体	22	22	22

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
文化まつり参加団体	団体	20	22	20
活動指標分析結果	日本舞踊は3年に一度文化まつりに参加する（H30参加）。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
事業参加者数	人	14,936	15,741	16,000	平成32年度	17,000
成果指標分析結果	文化まつり開催事業への参加者数は近年特に大きな変化はないが、参加者数は天候に左右される。H29は台風により参加者数が大幅に減少した団体もあった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	加古川清流戦開催事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	四段、三段棋士という将来の活躍が期待される若手棋士の登竜門となる公式棋戦という特徴がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	将来の活躍が期待される若手棋士のタイトル戦を行うことにより、「棋士のまち加古川」を市のみならず全国に継続的に発信する。
対象 ※誰、何に対して	若手棋士及びイベント参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	四段、三段棋士を中心に、女流棋士及びアマチュア代表等を加えたトーナメント戦を実施する。

【コスト】

		平成29年度(決算見込)
事業費合計		21,464千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	4,490千円
	一般財源	16,974千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	040加古川清流戦開催事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	21,464千円	23,471千円	23,802千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	若手棋士の登竜門となる公式棋戦「加古川清流戦」を通して、「棋士のまち」を全国に発信していくためには継続した開催が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	加古川清流戦開催事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
加古川清流戦開催数	回	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
加古川清流戦出場者	人	40	40	44
活動指標分析結果	今後もさらなる事業のPRに努め、参加者の増加を目指す。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
集客数	人	236	203	556	平成32年度	600
成果指標分析結果	26年度は決勝戦3番勝負のうち、2局しか行われなかった(27、28年度は3局)。28年度は、大盤解説会を古刹である鶴林寺で実施したため、定員を設定せざるを得ず、結果として観客数が減少した。29年度は台風到来のため観客が想定よりも少なかった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	棋士のまちPR事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成25年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	「加古川清流戦」を盛りあげ「棋士のまち加古川」をPRするための事業を実施している。「棋士のまち」を全国的にさらにPRするとともに、市民が将棋文化にふれる機会を創出していく必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川清流戦開催事業と相乗し、ゆかりのプロ棋士と連携をとりながら「棋士のまち加古川」を全国PRし、市民への将棋文化の普及啓発を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	マスコミへのPR、パンフレットの配布、将棋文化振興自治体サミットへの参画、将棋文化普及のためのイベントの開催などを行う。

【コスト】

	平成29年度(決算見込)	
事業費合計	9,261千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,500千円
	一般財源	6,761千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	045棋士のまちPR事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	9,261千円	2,275千円	1,830千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	加古川清流戦開催事業と相乗し、「棋士のまち加古川」を発信することで、加古川市を全国にPRし、市民の地域愛や郷土愛、ふるさと意識を醸成している。

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	棋士のまちPR事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	265,055	266,443	267,434

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
棋士のまち加古川パンフレット発行部数	部	2,000	1,500	1,500
棋士のまち加古川将棋フェスタの開催	回	1	2	1
活動指標分析結果	「棋士のまち加古川」を全国に発信するとともに、地域の将棋文化の振興を図った。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目標値
将棋フェスタ参加者数	人	600	1,161	500	平成32年度	600
成果指標分析結果	平成28年度は2回開催。平成29年度は好評である「ファミリーペア将棋大会」の開催等により午前中から夕方の閉会まで多くの市民が参加するイベントとなっている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	芸術家支援・育成事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成27年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成26年度の公開事業評価の結果を受け、若手芸術家の支援・育成を図るため、平成27年度から補助事業ではなく市の主催事業として実施している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	若手芸術家に発表の場を提供するとともに、市民にクラシック音楽に触れる機会を提供する。
対象 ※誰、何に対して	音楽大学等を卒業予定の2市2町出身・在住の新人クラシック演奏家、一般市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	音楽大学等を卒業予定の2市2町出身・在住の新人クラシック演奏家の新人演奏会(入場料無料)を開催する。

【コスト】

	平成29年度(決算見込)	
事業費合計	4,565千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,565千円

【会計】

会計	01一般会計
款	02総務費
項	01総務管理費
目	25文化振興費
細目	020文化活動振興事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	4,565千円	4,964千円	6,656千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 市が地元の若手芸術家を支援し、文化芸術を育成する風土を醸成していくためには継続が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	芸術家支援・育成事業	部局名	協働推進部
		課(室)名	ウェルネス推進課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	265,055	266,443	267,434

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
事業実施回数	回	1	1	1
活動指標分析結果	音楽大学等を卒業予定の2市2町出身・在住の新人クラシック演奏家の新人演奏会(入場料無料)を開催した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目標値
事業参加者数	人	365	340	265	平成32年度	300
成果指標分析結果	無料で開催することにより、多くの市民の方にクラシック音楽にふれていただく機会を提供することができた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	文化財保護に要する一般的経費	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、文化芸術振興基本法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	2001年の文化芸術振興基本法の制定を経て、文化財保護を含む文化の更なる社会的認知がなされてきている。近年は、可能な限り他の補助金事業（緊急雇用就業機会創出事業）を活用して同様の事業を振り替えてきたが、補助金事業が終了したため、本来の事業規模に戻していく必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の文化財保護意識を高め、文化財の公開等活用を進めながら、次世代のために文化財を良好な状態で保存する。
対象 ※誰、何に対して	指定・登録文化財及び遺跡を中心とした文化財及び全市民が対象である。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	文化財保護行政に係る事務を適切に行うとともに、文化財講座の開催、文化財ニュースの発行、文化財説明板等の設置、ホームページからの情報提供等により文化財保護意識を高める事業を行う。

【コスト】

	平成29年度(決算見込)	
事業費合計	3,002 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	23 千円
	一般財源	2,979 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	010文化財保護活動事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	3,002 千円	2,556 千円	2,299 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>文化財事務全般としては、体制の充実や予算の増加など抜本的な見直しが必要であったため、その改善に取り組んでいる。この事務事業に限れば、老朽化した文化財説明板等の整備、文化財の保存と活用など、積残しになっている多くの問題と課題を優先順位を定めて取り組んでいく必要がある。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	文化財保護に要する一般的経費	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
加古川市人口（10／1付推計人口）	人	265,055	266,443	267,434

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	史跡等維持管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、文化芸術振興基本法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	2001年の文化芸術振興基本法の制定を経て、文化財保護を含む文化のさらなる社会的認知がなされてきていると言える。また、里古墳及び平木橋等、新たに草刈等を行う必要のある管理すべき文化財が増加している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川市が管理する建造物及び史跡等の文化財を適切に管理する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市が管理する、本岡家住宅、史跡西条廃寺、西条古墳群(行者塚古墳、人塚古墳、尼塚古墳)、日岡山古墳群(南大塚古墳、西大塚古墳等)、里古墳、平木橋等の建造物及び史跡等の文化財、及び全市民が対象である。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市が管理する建造物及び史跡等の文化財について、草刈、清掃、建物の維持管理を行う。また必要に応じて見学者への対応を行う。

【コスト】

	平成29年度(決算見込)	
事業費合計	2,566千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,566千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	010文化財保護活動事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	2,566千円	7,108千円	2,196千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 草刈をはじめ対象面積と頻度が十分でない状態であるが、経費を増やすことが難しいため、現状を基本に、現場の状況に応じた部分改善を行っていく必要がある。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	史跡等維持管理事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	265,055	266,443	267,434

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	指定文化財保存管理補助事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定文化財の保存管理は、基本的には時代によって変化するものではない。一部この補助制度を活用しても所有者等に半額以上の負担があるため、所有者が不明となっている石造品等について、管理団体に指定されている町内会が経費負担しにくいものについての対応などの問題が出始めている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	指定文化財を適切に保存管理することができ、また、公開されることで、文化財の保護と活用が図れる。
対象 ※誰、何に対して	市内の指定文化財のうち、修理又は保存管理等文化財保護のため、所有者等の特別な負担があり、補助が必要な文化財が対象である。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	指定文化財の状況を把握し、所有者等からの申請を受けて、必要に応じて補助を行う。

【コスト】

	平成29年度(決算見込)	
事業費合計	320 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	320 千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	010文化財保護活動事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	320 千円	320 千円	2,083 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	保存管理内容や修理内容は、対象となる文化財の状況によって様々であり、個別に判断していく必要がある。今後も、整備及び修理の計画があるため、適切に対応する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	指定文化財保存管理補助事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指定文化財件数	件	122	120	119

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
文化財補助金申請件数	件数	4	4	5
文化財補助金申請額	千円	320	320	2,083
活動指標分析結果	指定文化財の保存管理及び修理に対する補助金申請の件数と総額を指標とすることで、この事業の活動の規模を確認できると考える。指定文化財の保護、活用に役立つと判断される申請に対して補助を行っている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
文化財補助金事業実施件数	件	4	4	5	平成32年度	8
文化財補助金事業補助金交付額	千円	320	320	2,083	平成32年度	640
成果指標分析結果	保存管理及び修理の内容の詳細は数値化することに馴染まないため、補助金申請に基づいた実施件数と補助金交付額指標とすることで、この事業の成果の規模を確認できると考える。補助事業が少なかったこともあり計画どおり実施した。					

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	文化財調査事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	公共事業等が進む中、溝之口遺跡や坂元遺跡の中での開発に最優先に対応する必要があり、他の遺跡や調査などが先送りされ、また、現場作業にも追われ、平成26年度までは調査報告も十分に行われていなかった。その後体制整備が少しずつ進み、調査報告書が刊行されるようになっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	文化財を、開発や不適切な行為による破壊、消失、損傷などから防ぎ、適切な保護を図る。
対象 ※誰、何に対して	開発に伴い破壊の恐れのある埋蔵文化財、及び保護のための調査が必要なその他の文化財。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	開発に伴い破壊の恐れのある埋蔵文化財については、埋蔵文化財包蔵地内の開発行為の前に確実に確認調査等を実施し保存に努める。その他の文化財については、保存のための調査が必要な場合に適切な調査を実施する。

【コスト】

	平成29年度(決算見込)	
事業費合計	12,632千円	
財源内訳	国庫支出金	2,100千円
	県支出金	1,050千円
	地方債	千円
	その他特財	7,531千円
	一般財源	1,951千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	005文化財調査事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	12,632千円	25,632千円	7,494千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>開発に伴う埋蔵文化財事務処理及び調査の件数が依然として多い中、少しずつ体制整備が行われているものの、過去の発掘調査に伴う出土遺物整理や調査報告等の事務が積残しになっている。今後、道路建設事業やほ場整備事業等に伴う大規模な発掘調査の計画があり、積残しの事務の解消と併せ、文化財調査と事務的なバックアップ体制の整備・拡充が必要である。また、埋蔵文化財以外の文化財の調査についても進めていかなければならない。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	文化財調査事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
埋蔵文化財包蔵地件数	件	650	637	637
指定・登録文化財件数	件	159	157	156

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
文化財調査依頼等件数	件	198	203	212
活動指標分析結果	日岡山公園整備事業や雁戸井ほ場整備事業等の大規模公共事業実施による試掘、確認、本発掘等の調査に加え、民間の開発行為や公共工事に伴う調査件数は今後も平準に推移していくと見込まれる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
文化財調査実施件数	件	38	57	70	平成33年度	40
文化財調査報告書発行件数	件	4	2	0	平成33年度	3
成果指標分析結果	必要に応じて文化財調査を実施し、記録・保存すべき調査内容については、報告書として刊行する。現在のところ、本発掘調査の対象となるケースは少ない。なお、平成29年度から指標名を「文化財調査報告件数」から「文化財調査報告書発行件数」に変更している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	歴史文化基本構想策定事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成29年度～平成31年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	本市内には数多くの歴史文化遺産が受け継がれてきているが、さらにそれをまちづくりや観光に十分に活用していくための基本的な構想の策定が期待されている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	文化財保護行政、観光振興行政、まちづくり行政を進めていく中で、地域の歴史文化を資源として考え、その保存と活用を図る。
対象 ※誰、何に対して	全ての市民及び全ての市域に係わる文化財をはじめとする歴史文化に関連する全てのこと。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	事前把握のために必要な調査を実施する。また、組織及び事務局を整備し、関係機関から情報提供を受けるように調整を図る。平成31年度に策定を完了し、その内容を広く周知する。

【コスト】

	平成29年度(決算見込)	
事業費合計	4,502千円	
財源内訳	国庫支出金	3,193千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,309千円

【会計】

会計	01一般会計
款	10教育費
項	07社会教育費
目	04文化財保護費
細目	030歴史文化基本構想策定事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算見込)	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)
事業費合計	4,502千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業初年度として、市内の文化財の基礎調査やアンケート調査を行い、構想の素案を作成することができた。これを基に、策定委員会での意見聴取やパブリックコメントの実施等、構想の完成に向けての進捗管理が求められる。

加古川市事務事業評価シート〈平成29年度実施事業〉

事務事業名	歴史文化基本構想策定事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指定・登録文化財件数	件	159		
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	265,055		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度
文化財基礎調査回数	回	1		
文化財アンケート調査回数	回	1		
活動指標分析結果	構想策定のための基礎調査として、業者に委託して市内の文化財に関する資料・文献を収集し、必要に応じて現地調査を実施して資料としてまとめる。また、本市の歴史・文化に対する意識調査や情報収集のため、アンケート調査を行う。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成28年度	平成27年度	目標年度	目 標 値
文化財基礎調査件数	件	7,500			平成29年度	5,000
文化財アンケート調査件数	件	153			平成29年度	320
成果指標分析結果	基礎調査を行って得られた結果を一覧可能なデータベースとして整理した。また、市内全町内会・自治会長320人にアンケート調査を行い、153件の回答が得られ(回答率47.8%)、集約及び分析を行った。					